

津波災害に備えて「防災備蓄倉庫・備品を整備」

鬼池おこし
 かあらし版
 第五十三号

令和三年一月二十六日発行
 発行元 鬼池まちづくり振興会 広報部会



防災備蓄倉庫

発生しないことを願う災害。ただ、万が一、津波災害発生時での応急対応の向上を図ることに主眼をおいて、このたび防災備蓄倉庫と防災備品等の整備を行いました。

鬼池地区内4ヶ所に、防災備蓄倉庫を配置し、その中に救急箱、発電機、救出・救助資機材セット、簡易テント、スタンドライト等を入れてあります。また、倉庫内には備蓄水や備蓄米も保管するよう準備を進めています。

先に配布しました防災バッグや防災手ぬぐいも活用いただき、まずは、自身の安全のために行動してくださいますようお願いいたします。

今回の防災備蓄倉庫と防災備品の整備にあたっては、宝くじの助成金を大事な財源として整備しましたことをご紹介します。

それぞれの防災備蓄倉庫設置場所は、下記のとおりです。

※宝くじの助成金とは

「一般財団法人 自治総合センター」が実施されています。「宝くじの社会貢献広報事業」として、地域のコミュニティ活動や地域文化活動、活力ある地域づくり活動などに対して助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するものです。

防災備蓄倉庫及び防災備品4ヶ所分の合計事業費約275万円に対し、宝くじの助成金180万円の交付決定を受けています。

防災備品



簡易テント、ライト類



救出・救助資機材

防災備蓄倉庫概略位置図

